



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年11月10日

上場会社名 アルメタックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5928 URL <http://www.almetax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 村治俊哉

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 藤井義博

TEL 06-6440-3851

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日 2021年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 4,732 | 5.4 | 102 | — | 186 | — | 184 | — |
| 2021年3月期第2四半期 | 4,490 | △16.5 | △136 | — | △24 | — | △908 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 17.87 | — |
| 2021年3月期第2四半期 | △88.15 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 10,933 | 8,516 | 77.9 | 823.60 |
| 2021年3月期 | 10,640 | 8,383 | 78.8 | 813.51 |

(参考)自己資本 2022年3月期第2四半期 8,516百万円 2021年3月期 8,383百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 5.00 | — | 1.00 | 6.00 |
| 2022年3月期 | — | 4.00 | — | — | — |
| 2022年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 9.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,700 | 7.4 | 200 | — | 310 | 308.5 | 270 | — | 26.11 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期2Q | 11,912,515 株 | 2021年3月期 | 11,912,515 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期2Q | 1,571,520 株 | 2021年3月期 | 1,607,575 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2022年3月期2Q | 10,322,967 株 | 2021年3月期2Q | 10,304,983 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内住宅市場は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続するなか、新設住宅着工戸数に持ち直しの動きが見られましたが、本格的な市場の回復を見るには至りませんでした。

このような状況のなか、当第2四半期累計期間における当社の経営成績は、売上高につきましては、主力製品である新設住宅用建材及びリフォーム用住宅建材は、前期から継続する新型コロナウイルス感染症の影響で訪問営業活動が困難な環境のなか、前年同期を上回ったものの伸びなやみ、厳しい経営環境が続いております。収益につきましては、生産性の改善及び総費用の削減に継続して取り組んだ成果に前期に実施した減損の効果も相まって、前年同期を大きく上回る結果となりました。

その結果、売上高につきましては、47億3千2百万円（前年同期は44億9千万円、5.4%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益で1億2百万円（前年同期は営業損失1億3千6百万円）、経常利益で1億8千6百万円（前年同期は経常損失2千4百万円）、四半期純利益は1億8千4百万円（前年同期は四半期純損失9億8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前事業年度末に比べて2億9千3百万円増加して109億3千3百万円となりました。主な内容としては現金及び預金が8千2百万円、受取手形（電子記録債権を含む）及び売掛金が2億1千6百万円増加したこと、市場価格が前事業年度末に比べ減少したことにより投資有価証券及び関係会社株式の評価が合わせて7千2百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べて1億5千9百万円増加して24億1千6百万円となりました。主な内容としては支払手形及び買掛金が1億3千6百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて1億3千3百万円増加して85億1千6百万円となりました。主な内容としては利益剰余金が1億7千4百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が5千万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前年同期に比べ1億9千2百万円増加して14億2千9百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比し5千4百万円増加し、2億1百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比し1億4千9百万円増加し、△1億8百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比し5千1百万円増加し、△1千万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想については、2021年10月27日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載しました2022年3月期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (2021年9月30日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,346,578 | 1,429,515 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,022,917 | 1,194,103 |
| 電子記録債権 | 2,129,967 | 2,175,391 |
| 商品及び製品 | 129,295 | 139,442 |
| 仕掛品 | 10,599 | 9,435 |
| 原材料及び貯蔵品 | 528,907 | 547,587 |
| その他 | 139,213 | 180,211 |
| 貸倒引当金 | △2,679 | △2,864 |
| 流動資産合計 | 5,304,800 | 5,672,822 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 809,052 | 806,874 |
| 土地 | 1,465,142 | 1,465,142 |
| その他(純額) | 61,716 | 78,394 |
| 有形固定資産合計 | 2,335,910 | 2,350,411 |
| 無形固定資産 | 9,093 | 8,994 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,574,107 | 1,513,688 |
| 関係会社株式 | 1,302,302 | 1,289,960 |
| その他 | 117,899 | 101,374 |
| 貸倒引当金 | △3,773 | △3,773 |
| 投資その他の資産合計 | 2,990,537 | 2,901,249 |
| 固定資産合計 | 5,335,542 | 5,260,655 |
| 資産合計 | 10,640,342 | 10,933,477 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,126,659 | 1,263,581 |
| 未払法人税等 | 14,567 | 34,512 |
| 賞与引当金 | 154,800 | 192,009 |
| 役員賞与引当金 | - | 7,389 |
| 製品保証引当金 | 8,056 | 7,798 |
| その他 | 266,019 | 266,042 |
| 流動負債合計 | 1,570,102 | 1,771,332 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 179,034 | 177,858 |
| その他 | 508,017 | 467,483 |
| 固定負債合計 | 687,051 | 645,342 |
| 負債合計 | 2,257,154 | 2,416,674 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (2021年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,160,418 | 2,160,418 |
| 資本剰余金 | 2,584,575 | 2,585,585 |
| 利益剰余金 | 2,799,829 | 2,973,989 |
| 自己株式 | △399,188 | △390,247 |
| 株主資本合計 | 7,145,634 | 7,329,745 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,186,439 | 1,135,943 |
| 土地再評価差額金 | 51,113 | 51,113 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,237,553 | 1,187,056 |
| 純資産合計 | 8,383,188 | 8,516,802 |
| 負債純資産合計 | 10,640,342 | 10,933,477 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 4,490,674 | 4,732,118 |
| 売上原価 | 3,779,430 | 3,779,333 |
| 売上総利益 | 711,244 | 952,784 |
| 販売費及び一般管理費 | 847,321 | 850,189 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △136,076 | 102,595 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 30 | 22 |
| 受取配当金 | 69,033 | 66,608 |
| 仕入割引 | 3,478 | 2,578 |
| 助成金収入 | 35,906 | 10,877 |
| その他 | 3,572 | 3,866 |
| 営業外収益合計 | 112,021 | 83,953 |
| 営業外費用 | | |
| 売上割引 | 507 | 428 |
| その他 | 325 | 110 |
| 営業外費用合計 | 832 | 539 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △24,887 | 186,009 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 56 |
| 特別利益合計 | - | 56 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 17 | 370 |
| 減損損失 | 796,984 | - |
| 特別損失合計 | 797,002 | 370 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | △821,889 | 185,695 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,838 | 17,000 |
| 法人税等調整額 | 78,683 | △15,769 |
| 法人税等合計 | 86,522 | 1,230 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △908,412 | 184,464 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△) | △821,889 | 185,695 |
| 減価償却費 | 152,428 | 53,966 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △165 | 184 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △12,018 | 37,209 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | - | 7,389 |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少) | △1,100 | △257 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 4,340 | △1,175 |
| 受取利息及び受取配当金 | △69,064 | △66,631 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | - | △56 |
| 固定資産除却損 | 17 | 370 |
| 減損損失 | 796,984 | - |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 200,339 | △222,254 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 26,242 | △27,661 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △31,421 | △23,391 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △88,618 | 127,531 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △35,841 | 19,129 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △23,196 | 12,648 |
| その他 | △3,726 | 25,870 |
| 小計 | 93,308 | 128,565 |
| 利息及び配当金の受取額 | 69,068 | 66,631 |
| 法人税等の支払額 | △23,956 | △7,304 |
| 法人税等の還付額 | 8,736 | 13,929 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 147,156 | 201,821 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △244,070 | △93,840 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 56 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △15,995 | △554 |
| 固定資産の除却による支出 | △256 | △370 |
| その他の収入 | 2,800 | 760 |
| その他の支出 | △49 | △14,549 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △257,571 | △108,497 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △61,786 | △10,387 |
| 自己株式の取得による支出 | △22 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △61,808 | △10,387 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | - | - |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △172,224 | 82,936 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,409,217 | 1,346,578 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,236,993 | 1,429,515 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました販売手数料等の顧客に支払われる対価の一部について、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高並びに販売費及び一般管理費はそれぞれ2千4百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。